

テーマ:

# 「食」を大切に育てる児童の育成

こころをこめてそだてるよ・おいしくそだて わたしの野菜

宮城県  
石巻市立石巻小学校  
佐々木 庸子 先生  
村上 幸平 先生

## この活動の特徴

### 「凜々子」活用のポイント①

綿密な年間計画と  
研究授業で  
充実した栽培学習を实践!

### 「凜々子」活用のポイント②

国語科と関連付けて  
定期的に観察することで  
観察力と表現力を磨く!

### 「凜々子」活用のポイント③

冷凍保存を採用!  
「みんなで作って食べる」  
を实践し達成感を味わう

## 活動のねらい



- 観察しやすい環境で育てることで、栽培への自覚と責任、野菜への愛着が育つ。
- 国語科の「よく見て書こう」と関連させて詳しく観察する。また、友達と交流することで、さらに詳しく観察できるようになる。
- 学習カードをクラスに掲示したり、野菜名人に質問をしたり、ガイドブックやトマトの鉢を身近におくことで、児童の意欲を継続させる。
- 新聞や紙芝居を使って栽培活動をまとめ、活動をふり返る。友達と共有することで、食に対する感謝の気持ちをもつ。

## 活動の概要と流れ

対象学年 : 2年生(45名)

教科 : 生活科

実践期間 : 5~11月

時期	学習活動
5月10日	・「凜々子」を観察し、一人一本ずつ朝顔の鉢に苗を植える。余った苗は、収穫量を確保するため、校内の畑に植える。
随時	・国語科の単元「よく見て書こう」と関連づけて、定期的に観察記録カードを書く。
6月15日	・校内研究授業①「お世話をしよう」実施。意欲的に世話を続けようとする気持ちが育つ。
夏休み	・各家庭で栽培・観察を続け、収穫したトマトは3個冷凍保存して、休み明けの実習時に学校へ持参する。
9月5日	・トマトケチャップを作り、クラッカーにつけて、一年生と一緒に試食する。
9月13日	・保存しておいたケチャップを使って、ギョーザの皮のピザを作って食べる。
10~11月	・観察記録カードを見ながら、新聞づくりを行う。
11月14日	・畑のトマトを抜いて、根の様子を観察する。
11月29日	・校内研究授業②「野菜いのことをつたえよう」実施。新聞を使って、生長過程や思いをふり返る。



## ここがポイント！ 取り組みの工夫

### 課題やねらいを明らかにした学習指導案に沿って栽培学習を進める！

本校は、「食」を大切にしている児童の育成を目指し、全校で食育に取り組んでいる。昨年度に続き今年も「凜々子」の苗をいただいたことから、2年生ではアサガオの鉢を使って一人1鉢ずつ「凜々子」を育てることにした。その他に、ミニトマトとサツマイモも栽培し、比較栽培や調理を含めた食に関する指導案として、生活科の学習指導案を作成した。同時に、校内研究授業を5回、「凜々子」で2回を組み込み、学習の成果を教師間で共有、評価しながら進めていくことにした。

栽培活動が始まる前に、児童の生活科に対する意識調査を行い、子どもたちの現状や課題等を明らかにした上で、栽培学習を開始した。（別添「生活科学習指導案」参照）



### 取り組みの裏話・・・

#### 「野菜名人」のメッセージビデオ

低学年では、心情的な気づきが無いと、知的な気づきに結びつきにくいことから、子どもたちには「大切に育てる」という“思い”を持って世話をすることに気づかせたいと考えました。そこで、農業を営んでいる私の母と叔母に頼んで、「野菜名人」として、子どもたち向けのメッセージビデオに登場してもらうことにしました。

ビデオでは、実を大きくするためには、芽かきや追肥などの作業が必要なことや、実際に作業をしながら、その手順などを教えてもらいました。

### 栽培中のさまざまな工夫と「野菜名人」のメッセージビデオで栽培意欲を維持し、高める！

鉢は教室の前に置き、栽培過程の変化を見つけやすいような環境を整えた。また、苗と一緒に届いたガイドブックを廊下に吊るしておき、子どもたちがいつでも確認できるようにした。尻腐れ症が発生した時は、子どもたちから「これと同じだ！」と知らせにきた。

観察記録は、国語科と関連づけて定期的実施した。五感を使って観察することや、視点を与えて、気づきにくい部分も詳しく観察できるよう指導した。観察カードは常時教室に掲示しておき、友達と交流する中で、子どもたちの観察眼を磨いていった。

1回目の研究授業は、「野菜をおいしく育てるためにはどのような世話が必要か」を主題に実施した。最初の投げかけでは、「支柱を立てる」「追肥をする」等、ガイドブックに載っている作業が挙げたが、「野菜名人」からのメッセー



ジビデオを見た後は、「気持ちを込めて世話をすることが大事」と気づくことができた。

### 収穫したトマトを冷凍保存し「みんなで食べて食べる」を実践！達成感も共に味わう！

夏休み中に収穫最盛期を迎えるため、これまで「食べる」活動は十分できなかったが、今年はガイドブックに載っていた冷凍保存を採用し、夏休み明けの調理実習を計画した。夏休み中に収穫したトマトのうち、3個は冷凍し、休み明けに学校へ持参するよう、家庭に協力を依頼した上で、鉢を持ち帰ってもらった。

校内に地植えしたトマトも随時冷凍していき、夏休み明けに各家庭から持ち寄ったものと合わせて、ケチャップとピザを作った。トマト嫌いの児童もおいしく食べることができ、また、自分達が育てたからこそおいしかったという声も多く聞かれた。全員で収穫の喜びと達成感を味わいながら、食べるまでに長い時間がかかったことや、普段の食生活を考える良いきっかけにもなった。



また、普段どのように野菜に接しているかも、率直に語ってもらいました。「野菜は私の足音や話しかける声を感じている。」「丈夫に育ててねと、自分の子供を育てるように、毎日話しかけている。」という野菜名人たちの言葉を、子どもたちは真剣に受け止めていました。

苗を植えてから日々変化していく「凜々子」に、子どもたちは、世話をしたり、観察したりと熱心に取り組んでいましたが、この日を境に、さらに強い思いを持って植物に関わるようになりました。それに伴って、自然と愛着も深まっていったと思います。



■資料：「新聞づくり」児童作品

平成24年11月7日

トマトがじゃくじゃくしかけてたの、主目いものはちゅういがかひつよう。

なと、赤色は鳥にたてた、みはつる、つるてくきは、はは、おまのみは、い色でみどりはもつげ、少しガラガラ、たいようむきになる。

かんそう  
トマトのおまは、大人だ  
あし、おいしい、トマト  
おは、はい、おいしい、トマト

せびんおんなけだてたトマトのソースは、やにりま、おいしい

## 生活科学習指導案【食に関する指導案】

第2学年2組 指導者 教諭 佐々木 庸子

### 1 単元名 やさいをそだてよう

### 2 指導に当たって

#### (1) 題材観

本単元は小学校学習指導要領生活科の内容（7）「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定したものである。

児童は、1年生のときにアサガオの種をまき、きれいな花を咲かせたいという願いのもとに植物を栽培する学習を行った。2年生では、苗から育て、実った野菜を食べる活動まで学習させるために、次の理由からミニトマトとサツマイモを栽培している。

- ① ミニトマトは育てるのが比較的簡単で成長の様子も良く分かり、収穫しやすい。また、今年度は苗を提供していただいたこともあり、感謝の気持ちを継続的に抱いて栽培活動に取り組むことができる。
- ② サツマイモは丈夫で育てやすい。そして、目に見えない土の中で育つことで、収穫への期待を強く高められる。ミニトマトと比較すると、収穫が秋であることや、成長形態の違いなどに気付かせることができる。

これらのことから、野菜を育てることの楽しさや苦勞、収穫の喜びを味わわせたい。加えて、野菜を収穫し、食べるまでには、いろいろな工夫があることも気付かせたい。さらに、食物を大事にし、その生産等に関わる人々へ感謝の心を児童が抱けるように導きたいと考え、本題材を設定した。

#### (2) 児童観（男11名、女12名、計23名）

これまでに児童は、1年生のときに一人一鉢でアサガオの栽培を経験している。そのアサガオの栽培を通して、きちんと世話をすれば元気に成長し、きれいな花が咲くことを学んだ。自分のアサガオが咲く喜びも体感している。また、秋には種を集め保存し、育て方やアサガオに対する思いを書き添えて1年生にプレゼントをする活動をしてきている。

しかし、野菜については、幼稚園や保育所でサツマイモ掘りを経験してきているものの、野菜の栽培経験がない児童がほとんどである。また、普段よく食べる野菜の名前や様子は知っているが、それがどのような種から、どのように成長していくかということは知らない児童が多い。

本学級は1年生からの持ち上がりのクラスである。1年生の時から比べると、どの学習に対しても、思ったことや考えたことを書いたり、進んで発表したりしようという姿勢が少しずつ育ってきている。

「発見カード」や「観察カード」などの生活科の学習シートにも、詳しく書くことができる児童が増えてきている。しかし、2年生という発達段階もあり、まだまだ語彙が十分でなく、発問や指示の意味を理解することに個人差が見られるので、短く具体的な発問を心掛けているところである。

生活科の学習に対する意識調査（5月実施）は次のような結果であった。

生活科の学習は好きですか。	はい・・・・・・・・・・20人	いいえ・・・・・・・・・・3人
理由	・植物を植えたりするのがおもしろい（14人） ・虫捕りがおもしろい（4人） ・1年生のお世話が楽しい（11人）	・苗を植えたりするのが苦手（2人） ・土で手が汚れるのが嫌い（1人）
野菜の栽培は好きですか。	はい・・・・・・・・・・20人	いいえ・・・・・・・・・・3人
理由	・大きくなるのを見るとわくわくする（9人） ・野菜が好き（5人） ・食べられる（3人）	・虫に刺されるのが嫌（2人） ・野菜（トマト）が嫌い（3人）
トマトやサツマイモはいつ収穫されますか	トマト 夏（15人） 秋（5人） サツマイモ 春（4人） 夏（5人） 秋（11人） 冬（3人）	分からない（3人）
トマトやサツマイモの収穫で楽しみなことは何ですか。	・世話をするのが楽しみ（12人） ・どんな実がなるのか（10人） ・みんなで作ってたべてみたい（14人）	・いつ実がなるのか楽しみ（10人）
野菜にはどんなお世話があると思いますか	・水をかける（20人） ・肥料をやる（5人）	

以上の結果から、生活科の学習は好きで、栽培活動に強く関心をもち、成長の過程を見ていくことにおもしろさを感じていることが分かる。しかし、普段の活動の様子を見ると、気付いたり感じたりしたことをどのように表したらよいか戸惑っている児童も見られる。

また、収穫時期についての質問の結果をみると、サツマイモの収穫時期を春と思っている児童が4名、分からないと答える児童も2名いた。スーパーにいつも並んでいる野菜の収穫時期がいつ分からない児童もいることが分かった。

### （3）指導観

以上のような題材観と児童の実態を踏まえ、以下の点に留意して指導に当たりたい。

- ① 一人一鉢準備したミニトマトは教室の前に置き、育てる過程での成長や変化が見付けられやすい環境を整え、児童が自ら育てるという自覚や責任、野菜への愛着をもたせるようにする。
- ② サツマイモは少し離れた畑で栽培せざるを得ない状況から、変化が目立つ時期を教師が押さえ、観察させるようにする。
- ③ 観察や記録に際しては、定期的に観察カードを書かせる。五感を使って、詳しく観察する視点をとらえさせ、ただ世話をするだけ、ただ収穫するだけでは気付きにくいところまで観察できる観察眼を身に付けさせていく。そのために、国語科の「よく見て書こう」の単元と関連させて、自分で詳しく観察し、それを友達と交流することでさらに詳しい観察ができるように支援する。
- ④ ミニトマトやサツマイモの変化や成長が分かるように常に記録カードを教室に掲示する。
- ⑤ 食に関する関心を高めるために、野菜をおいしく育てるためにはどのような世話が必要か予想したり、身近な野菜名人に質問をしたりして、主体的に関わらせるようにする。自分たちの食生活と同じように、野菜も世話をしたことがすぐに結果に表れるわけではないので、成長の様子を振り返ることができるように学習カードの掲示を工夫し、児童の意欲が継続するように支援する。さらに、ミニトマトを食べるばかりではなく、種も収穫することで、一つの種からたくさんの種を作るといふ植物の強い生命力を感じることができるようにする。

## (4) 研究主題との関連

## 研究主題

「食」を大切にする児童の育成  
～生活科・総合的な学習の時間、給食の時間の指導を通して～

## 低学年部の目指す児童像

- (1) 食べ物に興味・関心をもち、朝食の大切さや、食べ物には命があることが分かる。 ＜食事の重要性＞
- (2) よく噛んで食べることの大切さが分かり、好き嫌いせずに食べようとする。 ＜心身の健康＞
- (3) いろいろな食べ物の名前が分かる。 ＜食品を選択する能力＞
- (4) 「いただきます」や「ごちそうさま」の意味が分かり、食事を作ってくれた人の思いや努力が分かる。 ＜感謝の心＞
- (5) 正しい箸の持ち方や食器の並べ方が分かり、みんなと協力して給食の準備や後片付けができる。 ＜社会性＞
- (6) 身近な土地でとれた食べ物や、季節や行事にちなんだ料理があることを知る。 ＜食文化＞

## 具体的な指導の手だて

- (1) 朝の会の健康観察で、朝に食べてきたものを発表させたり、朝食の大切さについて指導したりする。また、1年生で、ベビーリーフ、2年生で、ミニトマトとサツマイモの栽培活動を行い、収穫の際には植物の命をいただいていることを意識させる。 ＜食事の重要性＞
- (2) 給食指導において、「もぐもぐタイム」の時間を意識させながら、よく噛むことの大切さについて指導する。また、苦手な食べ物でも一口は食べさせ、味覚を広げさせる。さらに、頑張って食べた児童や完食した児童を褒める。 ＜心身の健康＞
- (3) 給食を食べる際に、メニューを読み上げさせ、食べ物や料理の名前に親しませる。 ＜食品を選択する能力＞
- (4) 1年生では、生活科「みんな いっしょに」において、家の食事の手伝いなどを家の人と一緒に行い、感想や家の人の思いなどを発表する活動を取り入れる。また、2年生では、生活科「やさいをそだてよう」の栽培活動や「一汁一菜プロジェクト」で、みそ汁を作る活動を行い、野菜や食事を作る人の思いや努力を体験させる。 ＜感謝の心＞
- (5) 給食指導において、正しい箸の持ち方や食器の並べ方について、継続的に指導する。また、学級活動の時間に、矯正箸を活用して、正しい箸の持ち方を意識させる。 ＜社会性＞
- (6) 町探検などで、石巻で作られている食べ物について調べる活動を取り入れる。また、絵本の読み聞かせを行い、季節や行事に合った料理や食べ物を紹介する。 ＜食文化＞

上記の本校研究主題、目指す児童像に迫るために、本時は、次のような手だてを講じていく。

【目指す児童像（1）に迫る手だて】

＜食事の重要性＞

- ・ 野菜も生きていて、命をいただいているという意識を高めるために、種の時、発芽の時の様子を写真に残して提示し、茎の長さが伸びたり、葉の数の増加などに気付かせ発表させる。
- ・ 特に野菜が嫌いといっている児童に意図的に指名し、これからの食事について考える場を設定する。

【目指す児童像（4）に迫る手だて】

＜感謝の心＞

- ・ 野菜博士からのメッセージを準備し、自分たちが予想した世話以上に苦労があることを実感できるようにする。

3 単元の目標

植物の栽培に関心を持ち、世話の仕方を調べたり人に聞いたりして世話をする中で、成長の様子や植物にも生命があることに気付き、愛着をもって継続的に育てようとする事ができる。

4 食育の視点

(1) 植物にも生命があることに気付く。

＜食事の重要性＞

(2) 食生活は、生産者はじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることを知り、食物の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。

＜感謝の心＞

5 指導計画（19時間）（別紙1参照）

6 本時の指導（6時/19時間）

(1) 本時の目標

野菜には成長にあった世話の仕方があることを知り、野菜を大きく、おいしく育てるための世話を継続して意欲的に続けようとする気持ちをもつことができる。

(2) 指導過程（別紙2参照）

(3) 準備物

○教師・・・これまでの写真や観察シートの掲示物、実物、絵カード、  
前時の学習カード

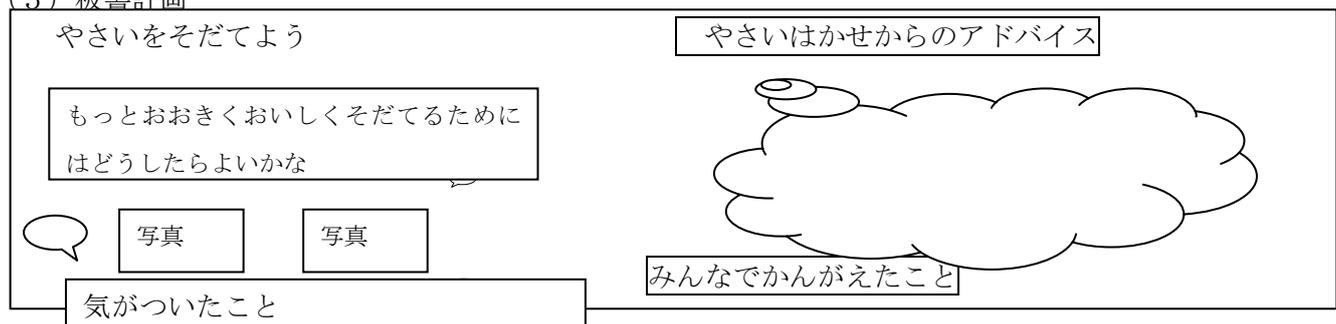
○児童・・・筆記用具、これまでの観察記録

(4) 評価

○野菜には成長にあった世話の仕方があることや野菜を作る人の思いを知り、野菜を大きく、おいしく育てるための世話を継続して意欲的に続けようとする気持ちをもつことができる。

【思考・判断・表現】＜つぶやき、発表、ワークシート＞

(5) 板書計画



## 別紙1 5 指導計画 (19時間)

時数	小単元のねらい	主な学習活動	評価の観点
1	そだてるやさいをきめよう ◎春まきの野菜の中から、自分たちで育てたい野菜を選ぶことができる。	1 自分の知っている野菜のことを話し合い、育ててみたい野菜をいくつかあげる。 2 自分たちで育てられる野菜かどうか、図鑑で調べたり人に聞いたりする。 3 育てる野菜を決める。	・野菜づくりに関心をもっている。 (関・意・態) ・栽培する場所や栽培時期を考し、栽培する適した野菜を選んでいる。 (思・表) ・野菜は、種類によって栽培に適した場所や時期が異なることに気付いている。 (気付き)
4	なえをうえよう ◎野菜の成長に期待を抱きながら、苗を植えたりすることができる。	1 種のまき方や苗の植え方、育て方などを図鑑で調べたり人に聞いたりする。 2 土づくりなど、野菜を植える準備をする。 3 苗を植えたりする。	・野菜の成長や収穫を期待しながら、植え方を調べたりして、苗を植えようとしている。 (関・意・態) ・第1学年での栽培活動を思い出し、世話の仕方や今後の成長などに見通しをもって苗を植えている。 (思・表) ・自分の育てる野菜の苗の植え方、世話の仕方が分かっている。 (気付き)
4	せわをしよう ◎野菜の成長の様子や状態に合わせて、世話をすることができる。	<b>1 野菜博士のアドバイスをもとに、成長に応じた世話の仕方を知り、世話をしようとする。</b> (本時1/4) 2 支柱立て、草とり、施肥、土寄せなど野菜の成長の様子に合わせて世話をする。〈1〉 3 成長の様子や世話をしたことなどを絵カードや新聞などに表す。(2)	・野菜の成長に関心をもち進んで世話をしようとする。 (関・意・態) ・野菜の成長の様子や状態に合わせて世話をし、そのことを表現している。 (思・表) ・野菜の成長の様子や植物にも生命があることに気付いている。 (気付き)
2	しゅうかくしよう ◎野菜の収穫を喜ぶとともに、収穫の様子や喜びと、これまでの世話の様子などを、自分なりの方法で表現することができる。	1 できた野菜を大切に取入れる。 2 収穫の様子や喜び、これまでの世話などについて振り返り、新聞やカードなどに表す。	・収穫を喜びながら、成長の様子や世話の仕方について振り返っている。 (関・意・態) (関・意・態) ・野菜の成長の様子や自分の世話のことを振り返り、工夫して表現している。 (思・表) ・野菜の成長の様子や世話の仕方を振り返り、成長に合わせて適切な世話の仕方があること、収穫の喜びに気付いている。 (気付き)
8	サツマイモをしゅうかくしよう ◎サツマイモの収穫を喜ぶとともに、食べ方や遊び方を考え、栽培活動に対する新たな思いをもつすることができる。	1 サツマイモを収穫する。 2 サツマイモの収穫を喜び、成長の様子や収穫して気付いたことを発表したりする。 3 サツマイモを食べるための調理方法を調べ調理し、いもやつるを使った遊びをしたりする。 4 記録カードや写真などから野菜作りを振り返り、感じたことについて話し合う。	・成長を喜びながらサツマイモを収穫している。 (関・意・態) ・成長を喜びながら、サツマイモの成長について考えている。 (関・意・態) ・サツマイモの世話の仕方や成長の様子が分かっている。 (気付き) ・サツマイモの成長や世話のことを振り返り、調理の仕方などを考えたりしながら、調理をしている。 (思・表) ・サツマイモの成長について考えたり、自然の恵みや関わってくれた人に感謝の気持ちを表している。 (気付き)

## 別紙2

## (3) 指導過程 (45分)

段階	学習活動 <b>主な発問</b>	予想される児童の反応	指導上の留意点 【評価の観点】おおむね満足できると判断される状況（方法） A：十分満足できると判断される状況 ☆：努力を要する児童への支援
導入 10分	<p>1 種と苗の名前当てクイズをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">この種は何の種かな？ この苗は何の苗かな？</div> <p>2 ミニトマトのこれまでの成長の様子を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">種から芽が出た時の苗と今日の苗の様子を観察して、気が付いたことを発表しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">葉の数や茎の様子はどのように変わりましたか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">この前植えたサツマイモはどんな様子でしたか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この苗はみたことあるな。</li> <li>・これはトマトだ。</li> <li>・植えるのたいへんだった。</li> <li>・早く大きくならないかな。</li> <li>・葉っぱの数が増えてきました。</li> <li>・茎が太くなっていました。</li> <li>・はじめの頃と比べると、こんなに大きくなっているんだな。</li> <li>・比べると、もっとわかるな。</li> <li>・もっと、大きくさせたいな。</li> <li>・葉っぱの数が10枚になりました。</li> <li>・茎の太さがもっと太くなっていました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○栽培経験のある植物の種を写真で提示し、名前を当てさせたり、種と苗を結び付けさせたりして本時への意欲をもたせる。</li> <li>○最後にサツマイモやトマトを提示し、本時の意欲を高める。 【目指す児童像（1）に迫る手だて】</li> <li>○野菜も生きていて、命をいただいているという意識を高めるために、種の時、発芽の時の様子を写真に残して提示したり、茎の長さが伸びたり、葉の数の増加などに気付かせ発表させる。</li> <li>○本時は、夏休み前に収穫できるトマトを中心に考えていくことができるように、写真はトマトを残し板書する。</li> <li>○命の成長に気付けるように、苗を植えた時と現在の写真を並べて提示し、毎日の観察では気が付かないつづやきを、葉の数や茎の様子など観点ごとに引き出すことができるようにする。気付いたことは、写真の周りに吹き出しに書き貼っていく。</li> </ul>
展開 30分	<p>3 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">もっと大きく、おいしくそだてるためにどうしたらよいだろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">もっと大きく、おいしくそだてるためにはどんなお世話したらよいか、考えたことを発表しましょう。</div> <p>4 野菜博士のビデオを観て話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">野菜博士からみんなにアドバイスが届いています。見てみましょう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どんなお世話が大切と話していましたか。ワークシートに書いてみましょう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと大きくするには、どうしたらよいかな。</li> <li>・水をたくさんかけたらいいのかな。</li> <li>・おいしくできたらいいな。</li> <li>・水をたくさんかけたいです。</li> <li>・草をぬいてあげたいです。</li> <li>・肥料をあげたいです。</li> <li>・水はたくさんかけすぎもよくないんだな。</li> <li>・土寄せをすることも大切なんだな。</li> <li>・野菜に声を掛けることも大切なんだな。</li> <li>・大切に思って育てているんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員で課題を読むことにより、本時の学習に見通しをもたせる。</li> <li>○どんなお世話が考えられるかは前時に書かせておき、朱書きで線をひいたり丸を付けたりして励まし、自信をもって発表できるようにさせる。</li> <li>○発表は、本時のねらいに迫ることができるように、意図的に指名する。</li> <li>○出た意見は板書で分かりやすく整理する。</li> <li>○成長に応じた世話の仕方について野菜博士からのビデオを観て気付けるようにする。</li> <li>【目指す児童像（4）に迫る手だて】</li> <li>○野菜博士からのアドバイスを準備し、自分たちが予想した世話以上に苦労があることを実感できるようにする。</li> </ul>

	<p>5 野菜博士からのメッセージについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 大きくなるコツ、おいしくなるコツは、どんなお世話が大切と話していましたか。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 どんな気持ちでお世話をしていると話していましたか。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 初めて知ったこと、びっくりしたことはありますか。             </div> <p>6 これからの農園の世話について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 みんなの育てている野菜をもっと大きく、おいしく育てるのにはどうしたらよいですか。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 ワークシートに考えをまとめて発表しましょう。             </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で土栄養を足すことが大事なんだな。</li> <li>・虫が付かないように見ていよう。</li> <li>・大きくなってくると違ったお世話も出てくるぞ。</li> <li>・野菜を育てる大変だな。</li> <li>・頑張って育てよう。</li> <li>・毎日大切に思って世話をしているんだな。</li> <li>・野菜を育てるのって大変なんだな。</li> <li>・自分たちの野菜も頑張って育てよう。</li> <li>・毎日、畑で野菜に声を掛けているんだな。</li> <li>・野菜を育てることって大変だ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虫が付かないように毎日見ている。</li> <li>・もう少し大きくなったら肥料をあげる。</li> <li>・毎日おいしくなるんだよと言って世話をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜の世話をするときは、どんな気持ちで世話をしているのか、栽培技術だけではなく、思いも大切であることを野菜博士には話してもらい、心情面に働きかける。</li> <li>○なかなか書けない児童には、水かけのことや土のことなど、観点ごとに意識するよう声掛けする。</li> <li>○自分たちの考えていたお世話以外のことに気付いた児童に発表させ、成長に応じた世話もあることに気付かせる。</li> <li>○心情面の気付きがある児童には発表させ、自分だったらどんな言葉を掛けるか発表させてみる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【思・判・表】</b></p> <p>A：野菜には成長にあった世話の仕方があることや野菜を作る人の思いを知り、野菜を大きく、おいしく育てるための世話を継続して意欲的に続けようとする気持ちをもつことができる。</p> <p>☆：野菜の成長にあった世話の仕方があることを理解させたり、世話を継続して意欲的に続けようとする気持ちをもたせたりするために、友達の発表を聞かせたり、板書のキーワードに着目させたりする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートに考えをまとめさせ、成長にあった世話に気付いている児童、さらに心情面の気付きがある児童に意図的に指名をし、本時の学習課題についてまとめる。</li> <li>○なかなか書けない児童には、板書を見て大切なことに気が付くように支援する。</li> </ul>
<p>終末5分</p>	<p>7 本時の活動を振り返り、これからの活動を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 今日、野菜博士から大事なアドバイスをいただきましたね。今日みんなで考えたことを大切にしてお世話をし、大きくおいしい野菜を作っていきますよ。             </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも大切に育てたい。</li> <li>・早く育てて食べてみたい。</li> <li>・トマトは嫌いだけど頑張ってみようかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○何人かの児童に、これからの栽培活動への気持ちを発表させる。</li> </ul> <p><b>【目指す児童像（1）に迫る手だて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特に野菜が嫌いといっている児童に意図的指名し、これからの食事について考える場を設定する。</li> <li>○これからの活動に意欲を高める。</li> </ul>